

# 調査研究活動実績

一燈立志の会 代表 大石 宗

令和3年度の政務調査費研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

## 1. 高知版ソサエティー5.0 社会の構築に向けての調査研究

AI や IoT などの第四次産業革命に資する新技術を取り入れた地域課題克服のため、医療・教育・一次産業等の活用が見込まれる現場の調査を行うと共に、都市圏の成長企業の皆さんとの意見交換や高知県への企業誘致活動についての調査を行った。企業誘致に関しては、実際に進出を模索する企業を自治体と連携して視察の受け入れなども行った。

また、ズームなどのオンラインを通じて、高知県の支援策等を首都圏企業の経営者にアピールすると同時に、意向調査も行なった。

合わせて、県内高等教育機関が取り組むオープンイノベーションの取り組み（特に医療✕VRなどの新技術の開発促進）に関するサポートも行った。

## 2. 学校教育を中心に地域における人材育成についての調査研究

魅力のある学校づくりについて、掛川西高校のオンラインを活用した高知県の高校生との連携の取り組みを視察し、調査研究を行なった。

また、関東において国際学生寮を運営する企業の視察を行い、学生の意識向上に関する調査研究を行った。

## 3. 高知県の歴史と文化の保存についての調査研究

県史編纂に関する課題の聞き取りを始め、県内の歴史と文化の保存に関する調査研究を行った。

## 4. 一次産業の振興についての調査研究

農業においては、希少な多肉植物の生産に取り組む農家と協働し、産地のブランド化などの取り組みを実行すると共に、市場調査や県外企業との連携などに関する課題等の調査研究を行なった。

水産業においては、カツオマグロ漁について、人材の確保の課題、漁獲制限の課題等についての調査研究を行った。

また、内水面漁業に関する漁協関係者からの聞き取りも行った。

## 5. コロナウイルス対策についての調査研究

コロナウイルスの影響について、一昨年・昨年に引き続き医療・経済・教育という観点から調査研究を行なった。医療においては、医療機関並びに医療従事者への現場課題の聞き取り、経済では特に売り上げなどに影響が大きいと思われる、ホテル、旅館業、また飲食店経営者などの事業者から現状について、また、スーパーマーケットなどの小売店の販売状況や日本酒メーカーの経営状況、更に製造業についても調査を行った。

教育に関しては、今後のオンライン教育推進の現状と課題について、学校関係者並びに保護者より聞き取りを行った。

## 6. 住民座談会の実施

高知県民の県政に対する意見を聴取するため、各地の集会所並びにオンラインでの県政意見交換会を実施した。

## 7. 議会情報の発信

コロナ禍においても、正しい情報を迅速に発信すべく、youtube など新たなオンラインの媒体を活用した情報発信を実施した。

## 8. 地域活性化に関する調査研究

高岡郡・安芸郡などの中山間地での地域活性化の取り組みを視察し、集落活動センターや移住促進、観光振興などについての調査研究を行った。

## 9. 国際交流に関する調査研究

本県と縁の深い台湾、韓国との友好交流に関する調査研究を行った。

## 10. スポーツ振興に関する調査研究

スポーツを活かした地域振興に関し、本県で令和3年度に立ち上がったスポーツコミッションの活動に関する調査研究を行った。

以上